

③将軍への拝謁、産品献上等に関する資料



大谷九右衛門勝実による将軍への拝謁の記録

竹島渡海由来記抜書控

作成年代不詳

資料概要

竹島渡海由来記抜書控は、大谷家が渡海の経緯を後年まとめた記録(※1)で、二代目の九右衛門勝実が御目見(将軍への拝謁)と献上を行ったことについて書かれている。御目見は、1671年(寛文11年)をはじめ何度も行われたが、記録が焼失しているものもあると記載されている。村川家が御目見を行ったことについても言及されている。

また、1671年の御目見の際、幕府の役人に産品を献上した際の相手方、内容について記録がある。文中に「竹嶋」とあるのは鬱陵島のこと。

※1 大谷文子氏は、大谷九右衛門勝実が文政の頃に書き写したものと考えられるとする。(→No.1)

内容見本

二代目 九右衛門勝実

勝実幼名惣助於江府九右衛門と改号及老年隠居シ瀬兵衛と改此惣助若年之時父勝宗為名代江府江詰前記如ク首尾能御目見仕其後数度 御目見仕則参府度毎記録有之処焼失尤寛文十一年亥五月廿八日

御目見仕并ニ延宝七年未七月参府其翌八月

御目見仕右両度分献上之品并ニ御役人様勤門控左之通書頭

猶延宝九年酉七月村川市兵衛参府之節御達書ニも顕然たり

寛文十一年亥五月廿八日

御目見仕御勤門左之通

御公方様江献上箱肴 但例之通竹嶋鮑五百貝一折

酒井雅楽守(ママ)様

同 河内守様

阿倍豊後守様

稲葉美濃守様

久世大和守様

土屋但馬守様

板倉内膳守(ママ)様

右御七人様江竹嶋鮑五百貝入一折宛

(略)

現代語訳

二代九右衛門勝実

勝実は幼名を惣助という。江戸で九右衛門を襲名、老いては隠居し瀬兵衛と改名した。この惣助は若い時に父勝宗の名代として江戸に滞在し、前記のように首尾よく御目見をこなし、その後も数回御目見にあずかっており、参府のたびの記録もあったが、焼失してしまった。ただし、寛文十一年(1671年)亥の五月二十八日の御目見および延宝七年(1679年)未の七月参府し翌八月に行われた御目見(※2)、この両度分の献上品と御役人様方へ差し上げた品の控えは、次に書き表すとおりである。なお、延宝九年酉の七月村川市兵衛が参府した時、頂いた御達書によってもはっきりとしていることである。

寛文十一年亥の五月二十八日御目見の時に差し上げた品々は左の通りである

御公方様へ献上箱肴 但し 例の通り竹嶋鮑五百貝一折

酒井雅楽守(頭)様

同 河内守様

阿倍(部)豊後守様

稲葉美濃守様

久世大和守様

土屋但馬守様

板倉内膳守(正)様

右御七人様へ竹嶋鮑五百貝入一折宛

(以下略)

※2 延宝七年(1679年)の参府、御目見については、実際には三代目の勝信が代理で行った。

作成年月日	作成年代不詳
編著者	-
発行者	-
収録誌	-(大谷家文書1-3)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

二代目 土佐藩 勝實

勝實、初名、忠、江府、為政、と改め、寛文十一年、土佐藩に、頼重、改
 名、忠、と改め、土佐藩、為政、と改め、江府、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、
 土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、

寛文十一年、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、

土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、

土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、土佐藩、為政、と改め、

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

備後守九年酉七月村川市常務府長河延書以歌純多り
寛文十一年亥九月廿八日

河内見往初河内門戸通

河内方様江獻上箱者

但
別色所所範
五百頁一折

酒井雅常守様

河内守様

河内豊後守様



本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

小笠原山城守様

戸田伊勢守様

中多長門守様

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記